

| | | | | | |
|------|---|------|-----|----------|-------------|
| 科目名 | 病態情報解析演習 (Seminar on Pathophysiological Laboratory Sciences) | | | 科目コード | M319 |
| 選択区分 | 選択 | 履修時期 | 1 後 | 単位数 (時間) | 2 単位 (60時間) |
| 担当教員 | 佐田 榮司・脇坂 浩之・山岡 源治・高田 智世 | | | 関連DP | 医①⑤ |
| 授業概要 | 近年開発された患者検体解析の新たな方法について話題の論文を用いて学ばせ、実際の症例でデータの解析を行い解析法についての理解を深めさせる。 | | | | |
| 授業目標 | 患者の血液・体液成分を分析することにより得られた検査データ、生理学的検査、画像データに関して、自己免疫疾患、膠原病・アレルギー疾患・血液疾患・がんを中心に実際の事例をもとに総合的に診断を行う能力を身につける。さらに関連文献を精査検討し患者から得られたデータのより深い解析手法について理解する。プロセスを通じて、成書、論文を批判的に吟味する能力を身につけ、病態解析における実践力を向上させる。 | | | | |

授業内容とスケジュール

| 回 | 項目 | 内 容 | 担当者 |
|---------------|----------|---|------------------------------|
| 1 | 情報収集の方法 | ガイダンス、データベース検索による情報収集法 | 佐田榮司 脇坂浩之 山岡源治 高田智世 |
| 2～4 | 最近の検査の動向 | 検査データ分析法の最近の研究の動向 | |
| 5～10 | 最近の研究の動向 | 血液・免疫・腫瘍分野における最近の研究動向 | |
| 11～18 | 免疫疾患演習 | 自己免疫疾患、アレルギー疾患患者における実際の検査結果を用いたデータ解析演習 | |
| 19～24 | 血液疾患演習 | 血液疾患患者における実際の検査結果を用いたデータ解析演習 | |
| 25～28 | 悪性腫瘍演習 | がん患者における実際の検査結果を用いたデータ解析演習 | |
| 29・30 | 総括 | 演習の整理と総括 | |
| 成績評価方法 | | 各演習内容のレポート (資料収集 25%、論理性 25%、考察 50%) により評価する。 | |
| 必携あるいは参考図書・文献 | | 参考文献 Nature Reviews Immunology, Arthritis & Rheumatism, New England Journal of Medicine より紹介する | |
| 授業時間外の学習について | | | |
| 関連科目 | | 301 臨床検査技術学特論、302 医療技術科学研究方法論、318 病態情報解析特論 | |
| 備 考 | | 病態情報解析特論の履修を前提とする。 | |